

# 千代川の水質はきれい！！

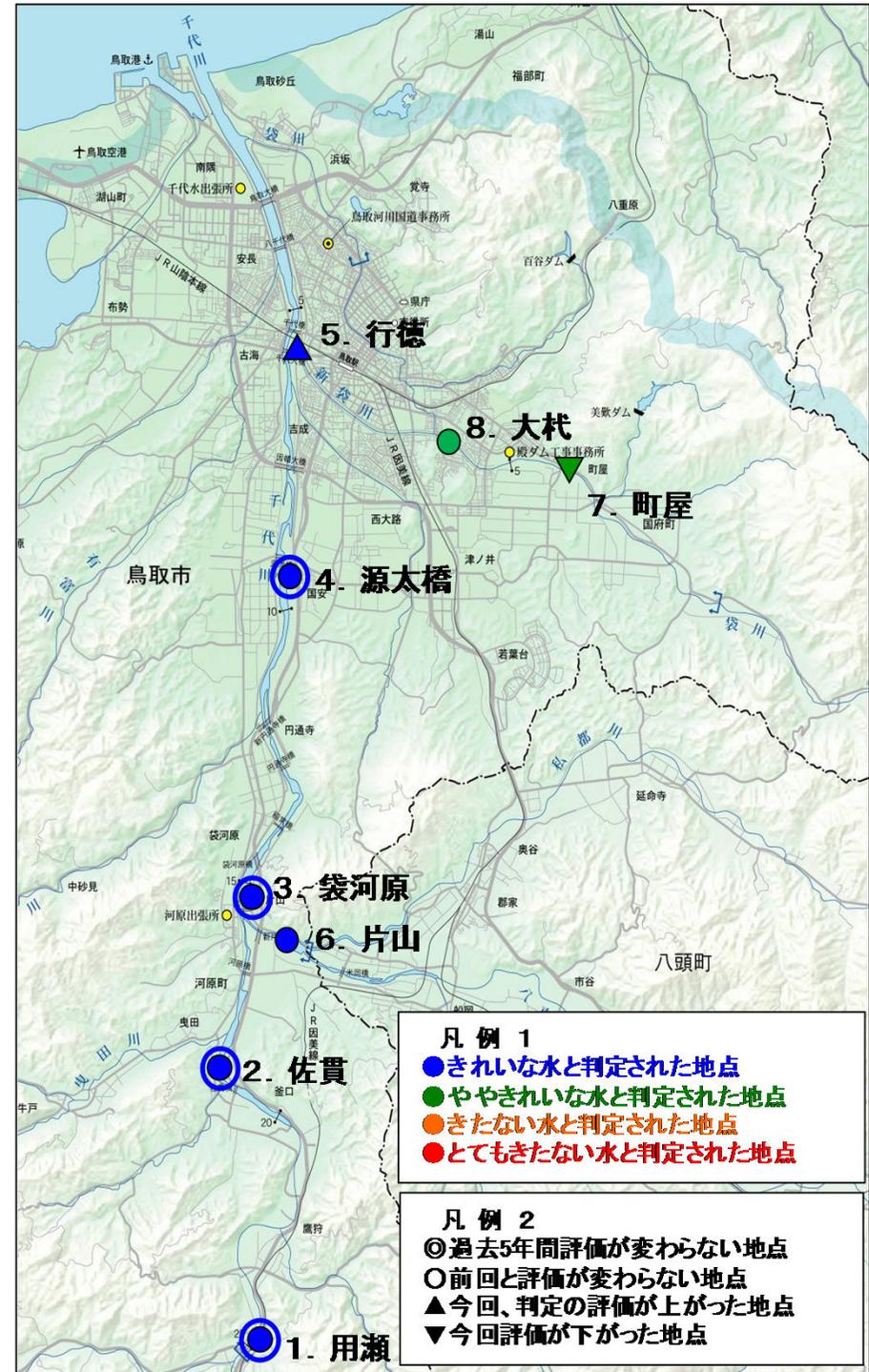
～平成25年度の水生生物調査の結果～

平成25年7月2日から9月18日にかけて、付近の小学校など6団体、約250人に参加してもらい、千代川の水質を簡易に測定する、水生生物調査を実施しました。

水生生物調査を実施した8地点中、6地点で「きれいな水」、2地点で「ややきれいな水」と判定され、「きたない水」「大変きたない水」と判定された地点はありませんでした。

近年は、下水道の普及や地域のみなさんの美化活動のおかげもあり、千代川の水質は「きれいな水」や「ややきれいな水」と判定される地点のみで推移しています。

これからも、千代川の水質がこのままのきれいな状態を保っていただくと願っています。



# 平成25年度 水生生物による水質測定の結果

●：特に多く確認された（2点）、○：確認された（1点）

河川名	調査地点名	きれいな水							ややきれいな水							きたない水				とてもきたない水				判定 水質階級	判定 水質階級 (昨年度)											
		カワゲラ類	ヒラタカゲロウ類	ナガレトビケラ類	ヤマトビケラ類	アミカ類	ヨコエビ類	ヘビトンボ	ブユ類	サワガニ	ナミウズムシ	合計得点	コカ・タシマトビケラ類	オオシマトビケラ類	ヒラタドロムシ類	ゲンジボタル	コオニヤンマ	カワニナ類	ヤマトシジミ	イシマキガイ	合計得点	ミズカマキリ	ミズムシ			タニシ類	シマイシビル	ニホントロコエ	イソコップムシ類	合計得点	ユスリカ類	チヨウバエ類	アメリカザリガニ	エラミミズ	サカマキガイ	合計得点
千代川	用瀬	○	●	●						○	6			○							2							2		○				1	I	I
〃	佐貫		○	●	○			○			5			●							2						0						0	I	I	
〃	袋河原	●		○				○			4			●		○					3						0						0	I	I	
〃	源太	●	○	○					○	○	6	●	○	○							4				○		1						0	I	I	
〃	行徳		●	○				○		○	6			●		○		○			4						0			○		1	I	II		
八東川	片山	○	●	●							5			○							1						0					0	I	I		
袋川	町屋			○							1			●		●					4				○		1			○		1	II	I		
〃	大杵		○					○	○	○	4	●	○	●		○	○				7				○	○	2					0	II	II		

※合計が同数の場合は、良い方を採用 「川の生きものを調べよう」テキストより

## 【水生生物調査とは】

河川の中にはさまざまな生物が生息していますが、川底に生息する生物(水生生物)は、過去から現在までのとても長い時間の水質状況を反映した結果でもあります。

したがって、河川の中にどのような生物が生息しているかを調べることによって、その地点の比較的長い期間の水質の状況を知ることが出来ます。

水生生物調査は、誰にでも簡単に水質状況が判定できるので、多くの方々に参加していただき、河川と親しみながら、河川の水質状況を把握することを目的としています。



水生生物調査の事前説明



水生生物の採取



水生生物の観察



水生生物の同定

# 川の生きものを調べよう

## 水生生物による水質判定

### I きれいな水

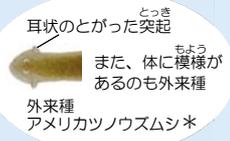


×5

実物大

#### ナミウズムシ

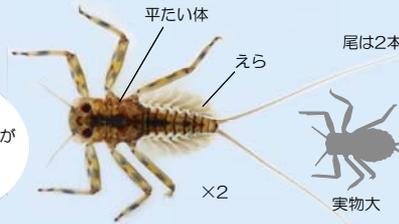
石の表面にはりついていて、伸び縮みする  
中・下流部には外来種がいることがある



耳状のとがった突起

また、体に模様があるのも外来種

外来種  
アメリカンウズムシ



#### ヒラタカゲロウ類

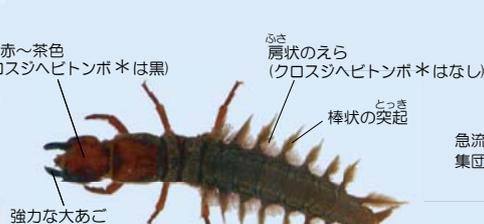
流れの速い石の表面にはりついている



実物大

#### サワガニ

体色は赤色、茶色、青白色のものがあるが、同じ種類である



#### ヘビトンボ

実物大

流れの速い石の下にひそんでいて、えものおそ



×3

実物大



×3

実物大

#### ナガレトビケラ類

流れの速いところにいる



実物大

#### ヤマトビケラ類

流れの少しゆるやかなところの石面に多い



#### ブコ類

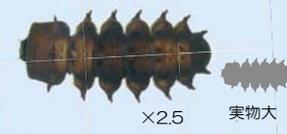
急流の岩や石に吸盤ではりついている  
集団をつくり、石が黒く見えることもある

つめは2本 (カゲロウは1本)



#### カワゲラ類

体ががんじょうな感じがする  
石の下やすき間にいる



#### アミカ類

腹面に吸盤があり、急流の岩や石にはりついている



#### ヨコエビ類

上流の石の下や水中にたまった落葉の間にいる



最も後ろの足が、その前の足より短い  
外来種  
フロリダミスヨコエビ



#### タニガワカゲロウ類

体はヒラタカゲロウ類に似ている  
流れの速いところにいる

### I, II両方でみられる水生生物 (指標種ではない)

### II ややきれいな水



実物大

#### カワナナ類

流れの少しゆるやかなところにいる  
外来種のコモチカツボキは数mmと小型



×2

から一般の口が丸

外来種  
コモチカツボキ

×0.5

から一般の口がひし形



実物大

#### コオニヤンマ

流れが少しゆるやかなところにいる



×2

実物大

#### ヒラタドROMシ類

石の表面にはりついている



×3

実物大

×10

#### コガタヤマトビケラ類

頭部の前縁に浅い凹みがある



#### ゲンジボタル

流れが少しゆるやかなところにいる  
カワナをえさとする



×2

ぜんきょう ちよう 前胸の模様異なる

ゲンジボタル

ヘイケボタル



×5

#### オオシマトビケラ

流れが少し速いところにいる



×1.5

#### ニンギョウトビケラ類

流れが少しゆるやかなところの石面にいる



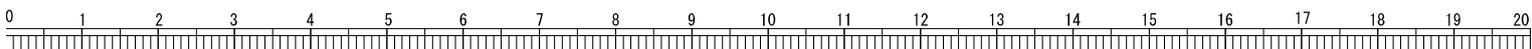
#### ヒゲナガカワトビケラ類

流れの速い石の間に網をはってえさを集める  
体色は茶～黒色



×1.5

\*のついている生物はよく似ていますが指標種(水質判定に使う水生生物)ではありません。



### III きたない水



ミズムシ

落葉のあるところではきれいな水にもいる



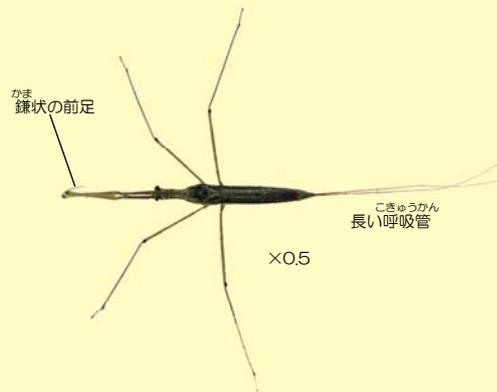
シマイシビル

背中に縦縞模様があるの伸びたり縮んだりする尾の先に吸盤がある



タニシ類

流れのゆるやかなところにいる



ミズカマキリ

川では川岸の草の中などにいる

### IV とてもきたない水



エラミミズ

尾部にえらがある流れのゆるやかなところにいる



サカマキガイ

多くの巻貝と違い、左巻き流れのゆるやかなところにいる



アメリカザリガニ

北アメリカ原産の外来種流れのゆるやかなところにいる



ユスリカ類

腹部に2対(4本)または1対(2本)のひも状のえらがある。瀬でみられる赤いユスリカはセスジユスリカやハイロユスリカが多い



チョウバエ類

尾部、腹部背面にかたい部分(キチン板)がある

### きすい いき 汽水域(海水が混じているところ)

#### II ややきれいな水



イシマキガイ

石や護岸にはりついている淡水域にもいることもある

ヤマトシジミ

砂や泥の中にいる淡水域にはマジミ\*や外来種のタイワンシジミ\*がいる

#### III きたない水



イソコツブムシ類

石の下にいるさわると丸くなる

ニホンドロソコエビ

泥の上や中にいる河川の上・中流部にも淡水性のヨコエビ類がいる

\*のついている生物はよく似ていますが指標種(水質判定に使う水生生物)ではありません。